

主要産地における平成27年産水稻の生育状況等について 第3報 (6月5日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成27年6月5日)

道府県	生育状況等		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道		<p>(全道) 生育はやや早い(早3日)、移植作業は平年並に始まっている(早1日)。日照時間は多かったことから、耕起など春作業は順調に推移している。(北海道農政部 5月15日現在)</p> <p>(空知) 4月下旬の好天により苗の生育は順調で、草丈・葉数は平年を上回っている(早4日)。移植作業も平年より早まる見込み。(空知総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(石狩) 平年より草丈・葉数ともに生育が進んでいる(早5日が、一部に徒長が見られる。一部では移植が始まっている。(石狩総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(後志) 苗の生育は平年より2日程度すすみ、本田の準備も順調に進んでいる。一部では移植が始まり、移植の進捗率は2%。(後志総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(胆振) 苗の生育は平年並(早2日)。一部地域で、移植作業(田植え)が始まった。(胆振総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(日高) 苗の生育は平年並み(早1日)(日高総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(渡島) 苗の生育は平年並に推移。出芽は2日早い。(渡島総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(樺山) 苗の生育は平年並である。出芽は北部南部ともに100%(樺山振興局 5月15日現在)</p> <p>(上川) 気温が高く経過したことから、苗の生育は平年よりやや早く推移している(早3日)。(上川総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(留萌) 苗の生育は平年よりやや早まった(早4日)。出芽期は4月24日(留萌振興局 5月15日現在)</p> <p>(オホーツク) 苗の生育はやや進んでいる(早3日)。出芽期は4月26日(オホーツク総合振興局 5月15日現在)</p> <p>道南農業試験場圃場での、きらら397、ふっくりんこ、なつぼしの生育は「やや良」(5月20日現在)(道南農業試験場)</p>	<p>・6月のヒメトビウンカの発生量は多く、イネドロオイムシの発生期は平年並で発生量はやや少く、フタオビコヤガの発生期はややく、発生量はやや少ないと予想。 (北海道害虫防除所 5月28日公表)</p>
青森		<p>・生育状況(6月1日現在)</p> <p>(黒石) 移植日から5月31日までの平均気温は平年より2.6℃高く、日照時間は平年比155%と多照であった。「つがるロマン」は草丈が23.1cmで平年より3.1cm長く、株当たり葉数は4.0本で平年並み、葉齢は4.7葉で平年より0.6葉多かった。「青天の霹靂」は「つがるロマン」と比べ、草丈が0.8cm長く、葉数は並み、葉齢は0.3葉少なかった。</p> <p>(十和田) 移植日から5月31日までの平均気温は平年より2.1℃高く、日照時間は平年比137%と多照であった。「まっしぐら」は、草丈が28.6cmで平年より4.9cm長く、株当たり葉数は4.0本で平年並み、葉齢は5.0葉で平年より0.6葉多かった。 (青森県産業技術センター農林総合研究所 6月2日付)</p>	<p>・6月のイネミズゾウムシは、県内全域で発生時期は早く発生量は少ない。イネドロオイムシは、県内全域で発生時期は早く発生量は平年並みの予想。 (青森県病害虫防除所 5月29日公表)</p>
岩手		<p>・県全体の田植え盛期(50%終了)は5月15日と平年より2日早く、田植え作業は概ね適期内に終わる見込み。活着は概ね良好。直播栽培は、播種後出芽までの気温が平年より高く経過しており、県内各地とも出芽は良好。 (岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部 5月28日付)</p>	<p>・6月のいもち病の発生はややく、イネミズゾウムシの本田侵入盛期は早く発生量は少く、イネドロオイムシの産卵盛期は早く発生量は少く、アカスジカスミカメのふ化盛期がかなり早まっている。 (岩手県病害虫防除所 5月29日公表)</p>
宮城		<p>・5月の気温が平年より高く、日照時間も多かったことから、水稻の生育は順調であり、葉数(平年差+0.6枚)から見たと平年(134%)であった。(宮城県 6月2日付)</p> <p>・5月25日現在の県全体の田植進行率は97%であり、山間高冷地帯等一部を除き県内の田植はほぼ終了している。田植終期(田植が95%終了した時期)は5月21日で、平年より1日遅く、前年と同時期であった。育苗～田植期間が良好な天候で経過したため、本年の田植作業は順調に進んだ。 <地区別進捗状況> (大河原) 98.6% (大崎) 97.7% (登米) 96.8% (気仙沼) 97.2% (仙台) 95.0% (栗原) 95.5% (石巻) 99.1% (宮城県 5月27日付)</p> <p>(大崎) 田植え後の気候が高温で経過し、苗の活着は良好。6月1日の調査では、平坦地域、丘陵地域、山間高冷地帯で概ね草丈が平年をやや上回り順調に生育している。(大崎農業改良普及センター 6月2日付)</p> <p>(栗原) 育苗～田植期間が良好な天候で経過したため、田植作業は順調に進み、管内の田植え始期、盛期、終期は、平年より1～2日早くおいて。草丈、葉数、葉数ともに平年を上回る生育となっている。直播栽培は順調に出芽が揃っており、3か所の調査圃場において、6月1日現在、イネの生育ステージは出芽揃い期～約1.5葉となっている。(栗原農業改良普及センター 6月2日付)</p>	<p>・5月末～6月初めのイネミズゾウムシの発生時期はややく発生量は多い見込み。 5月末～6月初めのイネドロオイムシの発生時期はややく発生量は多い見込み。 (宮城県病害虫防除所 5月22日公表)</p>
秋田		<p>(鹿角) 5月25日現在の播種作業の進捗状況は86.2%(平年89.7%)で、ほぼ平年並に進んでいる。水稻直播栽培の播種作業は5月21日に終期を迎えた。(5月29日付)</p> <p>(北秋田) 5月25日現在の田植の進捗率は89.4%で、ほぼ平年並みとなっている。(5月29日付)</p> <p>(山本) 田植作業は5月24日に終期を迎えた(平年5月25日)。風による葉先枯れが全域で見られ、特に沿岸側で多く発生。(5月29日付)</p> <p>(秋田) 5月25日現在の田植の作業進捗率は95.6%(平年91.1%)。終期(95%)は5月25日で平年より1日早い。(5月29日付)</p> <p>(由利) 5月25日現在、田植作業の進捗率は91%となった。直播栽培の播種作業は終わっており、出芽がそろった圃場では入水が行われている。(5月29日付)</p> <p>(仙北) 田植作業は5月25日現在で79.7%(平年69.4%)の進捗となっており、終期は今週末となる見込み。直播栽培の播種作業は5月21日に終期を迎えている。(5月29日付)</p> <p>(平鹿) 5月30日現在の移植作業の進捗率は99.0%です。移植作業の終期(進捗率95%)は5月27日で、平年より3日早くなっている。全体的に移植後の苗の活着は良好。(6月5日付)</p> <p>(雄勝) 田植作業の終期は、5月30日で平年より1日早くなった。(6月5日付) (秋田県農林政策課)</p>	<p>・6月のいもちの発生量は少ない、ばか苗病の発生量は多い、イネミズゾウムシの発生時期は早く発生量は平年並、イネドロオイムシの発生量は少ない、イネミギワバエの発生量は多い、ニカメイガの発生量は少ない、斑点米カメムシ類は発生時期が早く発生量は多い、フタオビコヤガの発生量は少ないと予想 (秋田県病害虫防除所 5月28日公表)</p> <p>・注意報 5月19日の調査の結果、イネミギワバエの発生量が全果で多いと予想 (秋田県病害虫防除所 5月21日公表)</p>
山形		<p>・移植盛期は平年より2日早い5月17日となり、育苗期の高温の影響で、全国的にやや徒長気味の苗となった。活着は概ね良好。6月1日現在の生育は、平坦部「はえぬき」で、草丈、葉数は平年並み、生育は3～4日早まっている。「つや姫」は各地域とも順調に田植が行われ、現在の生育は平年より3日程度早く、草丈が平年よりやや長く、葉数が平年並み。(オールやまがた米づくり日本一運動、県産米ブランド推進課 6月1日付)</p> <p>(最上) 移植作業は、始期が5月17日、盛期が23日、終期が30日(見込み)と、ほぼ平年並みの進捗状況となっている。(最上総合支庁 5月28日付)</p> <p>(庄内) 「つや姫」の生育は概ね順調で、分けつが発生も始まっている。6月1日生育調査の結果は、草丈は長く、葉数、葉数はほ場による差が大きい状況。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月3日付)</p> <p>(北村山) 田植後、高温・多照で経過し、降雨がほとんどなく、土壌のフキ(還元)や表層剥離が発生し、一部で生育停滞や葉色の低下がみられる。例年以上に田んぼの生育に「ばらつき」が多く注意が必要と指導。(村山総合支庁北村山農業技術普及課 6月4日付)</p> <p>(酒田) 6月1日現在の生育は、5月10日をピークとして移植が行われ(平年より3日早い)、活着は良好。地帯や移植時期などによる差はあるが、全般には順調なスタート。湛水直播栽培の苗立ちは良好。乾田V湛水直播栽培は4月中に播種作業が完了し、出芽・苗立ちは良好。葉齢で1.5～2.0葉程度となっている。(酒田農業技術普及課 6月2日付)</p> <p>(南村山) 適期出穂を確保するため、つや姫の移植は5月20日までと指導(山形の米日本一推進運動村山地域本部 4月30日付)</p> <p>(直隴) 高温により苗の生育が進み、徒長苗となっている。耕起が早かったほ場では乾土効果が期待される。田植の適期は5月15日～20日頃。つや姫の田植え時期の目標は5月20日まで(置賜総合支庁 5月11日付)</p>	<p>・6月のいもちの発生時期及び発生量は平年並、斑点米カメムシ類の発生量は多い、フタオビコヤガ(第1世代)の発生時期は早く、発生量は平年並の予想 (山形県病害虫防除所 5月27日公表)</p>
福島		<p>・田植え作業は、始期(5%終了)、盛期(50%終了)が平年より1日早く、それぞれ5月8日、5月15日で、終期(95%終了)は平年並の5月25日となった。活着は概ね良好で、本田での初期生育は、分けつが発生が平年並に多く、主穂出葉が平年より早まっている。直播栽培は、4月下旬から播種作業が始まり、5月下旬でほぼ終了した。出芽と苗立ちは良好。 (福島県農林水産部 6月3日付)</p> <p>(会津・喜多方) 天候にも恵まれたため、田植作業は平年より早かった。軟腐病や高温により、植え痛みや葉先枯れなどの除草剤による被害が発生したほ場が数見されたが、その後、回復している。 (福島県喜多方農業普及所ほか 6月5日公表)</p>	<p>・6月のいもち病の発生量は平年並、イネドロオイムシとイネミズゾウムシの発生時期は早く発生量は少ない、イネミハモグリバエの発生量は少ないと予想 (福島県病害虫防除所 5月29日公表)</p>

生育状況等		
茨城	<p>(水戸市) 6月1日現在、5月1日に移植した「あきたこまち」及び「コシヒカリ」の生育は、平年より6日程度進んでいる。平年に比べ、草丈は「あきたこまち」で並、「コシヒカリ」でやや長く、葉数は高品種ともに極多く、葉色は高品種ともに並。5月11日に移植した「コシヒカリ」の生育は、平年より5日程度進んでいる。平年に比べ、草丈は並、葉数は極多く、葉色は並。(6月1日付)</p> <p>(生育) (龍ヶ崎市) 5月28日現在、4月27日に移植した「あきたこまち」及び「コシヒカリ」の生育は「早」で、商品種の草丈は長い〜極く長く、葉数は極く多い。葉色は「あきたこまち」がやや淡く、「コシヒカリ」が並。5月7日に移植した「あきたこまち」及び「コシヒカリ」の生育は平年より2〜3日早い。商品種の草丈は平年並、葉数は並〜やや多い。葉色は「あきたこまち」が並、「コシヒカリ」がやや淡い。(6月1日付) (茨城県農業総合センター農業研究所)</p>	<p>・6月の綿葉枯病(ヒメトビウカ)の発生時期は早く、発生量は多く、発生地域は県西地域と県南の一部地域と予報。ニカメイガの発生時期はやや早い〜早く、発生量は平年並〜やや多い、発生地域は県下全域と予報(茨城県病害虫防除所 6月1日公表)</p>
栃木	<p>(下都賀) 気温が高く推移したため、葉齢+1.2と生育が進んでいる。 (生育) 5月3日補植コシヒカリの草丈は平年比96%、葉数は123%。(6月4日付) (下都賀農業振興事務所)</p>	<p>・注意報 イネ綿葉枯病の発生量が県中南地域で多いと予報。 (栃木県農業環境指導センター 6月3日公表)</p>
埼玉	<p>(加須) 早期栽培コシヒカリ産地の加須市北川辺地区では、4月11日から始まった田植えが、4月18日から本格的になっている。田植えは例年4月末には終わる予定。育苗中の天候が悪く、気温は低く推移したが、適切な保温管理が行われた結果、良質な苗が準備できている(加須農林振興センター 4月27日付)</p>	<p>・6月のいもち病の発生量は少、イネドロオウムシの本田での発生量は平年より多。ヒメトビウカの第1世代幼虫の発生量は平年並と予報。綿葉枯病の発生量は多いと予報 (埼玉県病害虫防除所 5月28日公表)</p>
千葉	<p>(生育) 4月中旬以降気温は高く推移し、6月1日現在、葉令は過去に例のない早さで進んでいる。特に、4月20日頃から5月1日頃までに移植したほ場は、葉数が多くなっている。5月10日頃に移植したほ場では、台風による強風の影響から一時的な生育停滞が見られたが、生育は回復傾向。葉数過剰が懸念される生育となっている。4月20日補植の「ふさおとめ」や「ふさこがね」の生育は、平年より5〜7日早く、「ふさおとめ」は6月10日頃から、「ふさこがね」は6月13日頃から幼穂形成期となる見込み。 (千葉県農林水産部 6月3日付)</p>	<p>・向こう1か月間の発生量は、いもち病は並、イネヒメハモグリバエは少、イネミズゾウムシは多、イネドロオウムシはやや多、イネクワカメシは平年並、ジャンボトニシは平年並の予報 (千葉県農林総合研究センター 5月14日公表)</p>
新潟	<p>・5月28日現在、平野部・山間とも生育は順調に推移している。田植え後の気温が平年より高く推移しており、コシヒカリ・こしいぶきとも生育は順調。コシヒカリは、県平均では草丈は「並」、葉数は「並」、草数の進みは「並」。こしいぶきは、県平均では草丈は「やや短」、葉数は「やや多」、草数の進みは「並」。(新潟県農林水産部 5月29日付)</p> <p>(生育) (岩 船) 田植え盛期は5月11日で平年並。5月を過ぎて高温・多日照で経過しており、葉数が進み、多くのほ場で分けつが発生している。苗が徒長気味であったこと及び田植時の低温、田植後の強風により、コシヒカリの一部で活着の遅れや葉傷み等が発生した。草丈は平年並〜やや短、葉数は平年並〜やや少(順調)、葉数は進んでいる。 (村上農業普及指導センター 5月28日現在)</p> <p>(糸魚川) 5月28日現在、平年と比べて生育が早く、草丈・葉数・葉数の値は平年値より大きくなっている。田植えが早いほ場ほど、その傾向は強く見られる。コシヒカリの草丈は平年比113〜114%、葉数は116%。こしいぶきの草丈は平年比100%、葉数は130%。 (糸魚川農業普及指導センター 5月29日付)</p> <p>(新 津) 5月28日現在、生育はやや早く、葉数はコシヒカリで平年並程度、こしいぶきでやや多い。 (新潟農業普及指導センター 5月29日付)</p> <p>(巻) 5月28日現在の生育は、草丈は全般的に指標比「平年並〜やや長い」、葉数は田植え後の好天で活着は良好。一部ほ場で2号分けつが発生が見られ、葉数は指標比「平年並〜やや多」。葉数は指標比「平年並〜やや早い」 (巻農業普及指導センター 5月28日付)</p> <p>(巻) 田植え後、5月全般は好天となり、活着はおおむね順調。5月28日現在のコシヒカリの葉数は日標値平年並〜やや多い状況。(越のかがやき米改良協会 5月28日付)</p> <p>(三 条) 4月下旬からの好天により、初期生育は順調。コシヒカリの生育は順調で分けつが発生が見られる。こしいぶきは葉数が進み、分けつが著実に増えている。(三条農業普及指導センター 5月28日付)</p> <p>(柏 崎) 5月29日現在、平坦地コシヒカリは理想値と比べて、草丈、やや短、葉数、やや少、葉数、やや少、生育はやや遅れ、分けつは始まっていない。こしいぶきの生育は順調。(柏崎農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>(上 越) 初期生育は、5月が好天に恵まれたことから補植傷みは少なく良好。5/28現在のコシヒカリ生育は、草丈：並(96%)、葉数：並(98%)、葉数：多い(+0.7葉)。こしいぶきの生育は、コシヒカリと同様に、順調に進んでいる。 (上越農業普及指導センター 5月28日付)</p> <p>(新発田) 移植後の活着は、平年に比べ連休補えてやや良、適期(5/10以降)補えて並。田植え以降の好天で、葉数の進みや草丈伸長は旺盛。ただし、本年は老化苗傾向で苗質がやや不良であったことと、5月13日以降の断続的な強風により初期分けつは発生はやや少なめ。(新発田農業普及指導センター 5月28日付)</p> <p>(新潟) 生育状況は目標に比べ、草丈「並」、葉数「やや多い」、葉齢「並〜やや早い」となっている。田植え後の気象は気温が高く、日照も多く推移し、生育は概ね順調。(新潟農業普及指導センター 5月28日付)</p> <p>(長 岡) 移植盛期は5月10日頃で平年並み。高温多湿条件下でおおむね生育は並となっている。定点調査ほのコシヒカリは、平場が指標値に比べ草丈93%、葉数94%、葉数が+0.3葉となっている。中山間地は移植直後から活着始めの状態。 (長岡農業普及指導センター 5月28日)</p>	<p>・6月の葉いもちの発生量は平年並、発生時期は平年並〜やや遅い。ニカメイガの発生量は平年並、発生時期は早い。ツマグロヨコバイの発生量は平年並。イネドロオウムシの発生量は平年並で時期は平年並、イネミズゾウムシの発生量は</p>
富山	<p>・生育観測ほデータ(6月2日現在) (てんかた) 平年に比べて葉齢がかなり進んでおり、草丈は長く、葉数はかなり多くなっている。 (コシヒカリ) 平年に比べて葉齢が進んでおり、草丈はやや長く、葉数はかなり多くなっている。 (てんこもり) 平年に比べて葉齢がかなり進んでおり、草丈は平年並み、葉数は多くなっている。 (富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月2日付)</p> <p>(生育) ・直播情報(5月27日現在) 湛水土中直播栽培(カルパー)の生育は、平年に比べ、草丈は19.5cmと長く、葉数は94本/m²と多く、葉齢展開は3.5葉とやや進んでおり、初期生育は良好となっている。 ・湛水表面直播栽培(鉄)の生育は、草丈は13.7cm、葉数は84本/m²、葉齢は3.6葉と、昨年と比べ、生育は良好となっている。 ・乾田V溝直播栽培の生育は、草丈は10.9cm、葉数は170本/m²、葉齢は2.5葉と、近年と比べ、やや良好な生育となっている。 (富山県農業技術課 広域普及指導センター 5月27日付)</p>	<p>・6月の葉いもちの発生量は平年並〜少なく、発生時期は平年並、紋枯病の発生量は多く発生時期は平年並、アカヒゲホソミドリカスミカメの発生量は平年並〜やや多い。アカスジカスミカメの発生量は多い。ニカメイガの発生量は平年並で発生時期はやや早い、イネミズゾウムシの発生量は平年並と予報。 (富山県農林水産総合技術センター 6月1日公表)</p>
石川	<p>(生育) ・葉齢展開からみた生育の遅延は、コシヒカリで平年に比べ1日程度早く、ゆめみづほで近年に比べて2〜3日程度早い。草丈は、コシヒカリが加賀地域及び能登地域で平年並、ゆめみづほは、加賀地域で平年並、能登地域で近年よりやや長い。葉数は、コシヒカリが加賀地域が平年並で平均107%、能登地域が平均109%と概ね平年並で、前年に比べて多くなっている。ゆめみづほは、加賀地域が近年比で平均143%と近年、前年より多く、能登地域で近年比が平均119%と近年に比べやや多く、前年に比べ多くなっている。(石川県農林総合研究センター 5月28日調査)</p>	<p>・6月の葉いもちの発生量は並、イネドロオウムシ幼虫の発生量は本田外での斑点米カメシ類幼虫の発生はやや多と予報 (石川県農林総合研究センター 5月28日公表)</p>
福井	<p>(生育) ・6月4日の水稲調査の結果は、連休に移植、播種した直播圃場では生育がやや早く、分けつ確保も良好。移植コシヒカリは平年並みの生育、直播圃場で草丈は長い。ハナエチゼンは生育が4日程度早く、分けつも多い。 ・草丈が長く草型が悪い圃場や下葉が枯れている圃場が散見される。 (水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月5日付)</p>	<p>・6月の葉いもちの発生量は平年より少なく前年並、紋枯病の発生量は平年並で前年より多い。ニカメイガの発生量は平年より少なく前年並、イネミズゾウムシの発生量は平年より少なく前年より多い、イネゾウムシの発生量は平年より少なく前年並、イネドロオウムシの発生量は平年より少なく前年並、イネヒメハモグリバエの発生量は平年より少なく前年並の予報 (福井県農業試験場 5月28日公表)</p>
長野	<p>(生育) ・活着は順調。(松本農業改良普及センター 平成27年作物技術普及情報第7号)</p>	<p>・5月中旬〜6月中旬のニカメイチュウの発生量はやや少、ツマグロヨコバイの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量は平年並〜やや少で発生時期はやや早いと予報 (長野県病害虫防除所 5月15日公表)</p>
滋賀	<p>(生育) ・4月下旬〜5月の高温・多日照により、生育は早く、分けつは旺盛となっている。すでに中干し適期となっているほ場も見られる。草丈は「コシヒカリ」が平年よりやや長く、「秋の詩」が平年並。葉数は「コシヒカリ」、「秋の詩」とも平年よりかなり多い(平年の約2倍) (みずかがみ) ・4月下旬から5月上旬移植の生育は、過去4年の平均と比べて5日程度早く、すでに中干し時期。早ければ6月20日過ぎに幼穂形成期を迎える見込み。 ・5月中旬移植は、分けつ最盛期。 (滋賀県農業技術振興センター 6月5日付)</p>	<p>・葉いもちの発生時期と発生量は平年並、ニカメイガ第1世代の発生時期はやや早く発生量はやや多、イネドロオウムシの発生時期はやや早く発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生時期と発生量は平年並の予報 (滋賀県病害虫防除所 5月20日公表)</p>
兵庫	<p>(生育) ・5月26日現在、県北は本田での生育は順調、県南では苗の生育が順調。 (兵庫県農政環境部 5月28日付)</p>	<p>・西播磨地域でイネ綿葉枯病が多発傾向。 (兵庫県農政環境部 5月28日付)</p>

生育状況等		
岡山	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の葉いもちの発生時期及び発生量は平年並、ヒメトビウカの発生量はやや少く、綿葉枯病の発生量は平年並、ツマグロヨコハエの発生量は少く、ニカメイガの発生量は平年並と予報(岡山県 6月1日公表) 	
広島		
山口	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に移植後の活着は良好で、5月上中旬までの移植では、分けつのは発生は順調。育苗中に立枯れ症状が見られた場合や、高温で苗が徒長気味の場合では、一時的な葉の黄化など、活着に時間がかかった田も見受けられた。(長門農林事務所農業部、JA長門大津、6月1日付) 	<ul style="list-style-type: none"> ・綿葉枯病(ヒメトビウカ)の発生量はやや多いと予報(山口県病害虫防除所 6月2日公表)
愛媛	<ul style="list-style-type: none"> ・6月は普通期水稲の田植え時期。高温登熟障害を回避するための平地地における移植適期は、ヒノヒカリが6月中下旬、にこまるは6月中旬。(愛媛県農林水産研究所 6月3日公表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月のいもち病、ヒメトビウカの発生量は平年並と予報(愛媛県病害虫防除所 5月28日公表)
高知	<ul style="list-style-type: none"> ・幡多管内の5月の早期稲(コシヒカリ)は最高分けつ期から分けつ終期となっている。4月下旬以降、気温・日照時間とも平年よりやや高めに推移していて、若干遅れ気味であった生育も平年並みとなっている。普通期稲は、主力となるヒノヒカリの田植えが始まった。苗の生育は概ね順調であった。(幡多農業振興センター農業改良普及課 5月28日付) 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月のいもち病は県下全域で発生時期及び発生量は平年並、セジロウカは東部・中央部・中西部では発生時期及び発生量は平年並、西部では発生時期は早く発生量は多いと予報。ツマグロヨコハエとヒメトビウカは県下全域で発生時期は平年並で発生量は少く予報(高知県病害虫防除所 6月3日公表)
福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・早期水稲(コシヒカリ、夢つくし)の田植えは平年並で、5月11日までにほぼ終了している。初期生育は順調だが、一部スクミリンゴガイによる食害が発生している。 ・普通期水稲は6月上中旬植えの育苗作業が行われ、生育は順調。高温対策のため、田植えは「夢つくし」を6月上中旬、「元氣つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬を中心に行われる予定。(福岡県農林業総合試験場 5月15日付) 	
熊本		<ul style="list-style-type: none"> ・6月の早期・早植水稲の葉いもちの発生量は平年並の予報(6月1日公表) ・5月下旬調査の結果、ヒメトビウカのイネ綿葉枯ウイルス保虫率は、本年は平年より低く、年々低くなっている。(6月3日公表)(熊本県病害虫防除所)
宮崎	<ul style="list-style-type: none"> ・5月中旬の早期水稲の生育ステージは分けつ期。生育は春先の高温の影響で平年より3日程度早い。(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月3日付) ・平成27年産早期米生育状況(4月下旬) <ul style="list-style-type: none"> 早期米の生育状況は、活着期～分けつ期を迎えている。育苗については2月上旬は平年に比べ気温が低く推移し、発芽等心配されたが、2月下旬より気温がやや高く推移したため、播種最盛期は平年並みに回復し、しっかりとした健苗の育成ができた。田植えについては、宮崎県では3月25日に最盛期を迎えた。3月下旬は気温も高くなり、安定した好天に恵まれ、田植えは平年並みの時期に行われた。田植え後の4月上旬は、天候が悪く、やや軟弱徒長気味の生育のものもあったが、強風等の被害はなく、概ね順調に生育している。葉齢は平年並み、草丈は平年より長く、茎数は平年より多くなっており、生育は平年並みからやや早い状況。(5月12日付) ・早期水稲 4月20日現在の生育ステージ(県全体) <ul style="list-style-type: none"> 活着期～分けつ前期。平年よりやや早い進度。4月上旬の日照不足により、やや軟弱徒長気味の生育となっているものが一部見られたものの、強風等の被害はなく概ね順調に生育している。 (中部地区) 活着期～分けつ前期。平年より1日早い進度。育苗期間中は、2月上旬気温が低い日が続く発芽等心配されたが、2月下旬はやや気温が高く推移し、健苗が育成された。移植後は、日照不足の影響により、一部でやや軟弱徒長気味となっているが、概ね順調に生育している。4月14日の調査では、草丈は平年より高く、茎数も平年よりやや多く、葉齢は平年より0.2葉程度進んでいる。 (南那珂地区) 分けつ前期で、平年より3日程度早い進度。移植後の天候に恵まれ、活着は順調。4月上旬の高温・寡照で一部、軟弱徒長気味の生育となっている。気温が高かったことで、概ね順調に生育している。葉齢は平年より1.3葉程度進んでいる。 (児湯地区) 活着期～分けつ前期で、平年より1日早い進度。移植最盛期はほぼ平年並みの3月27日。4月上旬の日照量が少なく一部で軟弱徒長気味ではあるが、平年より気温が高く、生育はやや進んでいる状況。 (東臼杵南部地区) 活着期で、平年並みの進度。田植え最盛期は平年並みの4月5日。4月上旬の日照量が少なく一部で軟弱徒長気味だが、平年より気温が高く、生育は順調に進んでいる状況。(JA宮崎経済連ホームページ「宮崎県早期米産地情報」5月12日付) 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の早期水稲の葉いもちの発生量は平年並みで発生時期は早いと予報(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月3日公表)
鹿児島		<ul style="list-style-type: none"> ・6月の早期水稲のいもち病、紋枯病の発生量は平年並の予報(鹿児島県病害虫防除所 5月27日公表)

注1：地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	生産数量目標					収穫量（主食用） 26年産	作況指数 26年産
		参考			自主的取組参考値（深堀）	↑		
		平成27年産	前年産との比較	増減率				
↑	↑	%	↑	↑				
全 国	<p>・6月6日～7月5日の1か月間は、全国的に暖かい空気に覆われやすく、北日本では気温は平年並か高く、東・西日本では気温は高い見込み。北日本では、平年に比べ日照時間は多く、降水量は少なく、東日本日本海側では、期間の前半は平年に比べ曇りや雨の日が少ないが、期間の後半は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。東日本太平洋側と西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。（気象庁 6月4日発表）</p> <p>（6～8月の3か月間の見通し）</p> <p>・6月は、北日本の天気は数日の周期で変わる見込み。東日本太平洋側と西日本では平年に比べ曇りや雨の日が少なく、東日本日本海側の期間の後半は平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。</p> <p>7月は、北日本、東・西日本では平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。</p> <p>8月は、北日本、東・西日本日本海側では平年に比べ晴れの日が少ない見込み。</p> <p>東・西日本太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。（気象庁 5月25日発表）</p> <p>・昨年夏から発生しているエルニーニョ現象は、冬にいったん弱まった後、今春から再び発達しているとみられる。秋にかけて、エルニーニョ現象が続く可能性が高い（気象庁 5月12日公表）</p>	7,510,000	▲ 140,000	▲ 1.8	7,390,000	7,882,000	101	
北 海 道	<p>・北海道地方の6月6日～7月5日の1か月間の平均気温は平年並か高い見込み。</p> <p>期間の前半は、降水量は少なく、日照時間は平年より多い見込み。</p> <p>期間の後半の天気は、数日の周期で変わる見込み。（札幌管区気象台 6月4日発表）</p>	547,330	▲ 6,810	▲ 1.2	538,580	597,200	107	
青 森	<p>・東北地方の6月6日～7月5日の1か月間の平均気温は平年並か高く、降水量は少なく、日照時間は多い見込み。（仙台管区気象台 6月4日発表）</p>	242,460	▲ 4,540	▲ 1.8	238,580	257,400	104	
岩 手	同上（仙台管区気象台 6月4日発表）	271,210	▲ 4,330	▲ 1.6	266,880	287,700	105	
宮 城	同上（仙台管区気象台 6月4日発表）	348,620	▲ 14,010	▲ 3.9	343,050	379,600	105	
秋 田	同上（仙台管区気象台 6月4日発表）	417,540	▲ 15,500	▲ 3.6	410,860	453,000	104	
山 形	同上（仙台管区気象台 6月4日発表）	344,500	▲ 14,070	▲ 3.9	338,990	380,700	105	
福 島	同上（仙台管区気象台 6月4日発表）	339,550	▲ 8,870	▲ 2.5	334,130	350,600	104	
茨 城	<p>・関東甲信地方の6月6日～7月5日の1か月間の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。（気象庁 6月4日発表）</p>	337,370	▲ 4,180	▲ 1.2	331,980	396,200	105	
栃 木	同上（気象庁 6月4日発表）	298,690	▲ 10,640	▲ 3.4	293,920	313,700	100	
埼 玉	同上（気象庁 6月4日発表）	151,270	▲ 1,410	▲ 0.9	148,850	169,800	102	
千 葉	同上（気象庁 6月4日発表）	246,490	▲ 2,790	▲ 1.1	242,550	325,300	104	
新 潟	<p>・北陸地方の6月6日～7月5日の1か月間の平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多い見込み。（新潟地方気象台 6月4日発表）</p>	521,290	▲ 14,350	▲ 2.7	512,960	576,000	101	
富 山	同上（新潟地方気象台 6月4日発表）	185,650	▲ 6,690	▲ 3.5	182,680	193,100	101	
石 川	同上（新潟地方気象台 6月4日発表）	123,630	▲ 2,770	▲ 2.2	121,650	123,400	98	
福 井	同上（新潟地方気象台 6月4日発表）	125,460	▲ 2,670	▲ 2.1	123,460	126,000	98	
長 野	<p>・関東甲信地方の6月6日～7月5日の1か月間の平均気温は高い見込み。</p> <p>降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。（気象庁 6月4日発表）</p>	194,000	▲ 2,640	▲ 1.3	190,900	195,800	96	

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t		%	t		
滋 賀	・近畿地方の6月6日～7月5日の1か月間の気温は平年より高く、降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （大阪管区気象台 6月4日発表）	160,450	▲ 2,930	▲ 1.8	157,880	157,100	97
兵 庫	同上（大阪管区気象台 6月4日発表）	180,440	▲ 1,490	▲ 0.8	177,560	177,800	97
岡 山	・中国地方の6月6日～7月5日の1か月間の平均気温は高く、降水量と見込み。 （広島地方気象台 6月4日発表）	158,550	▲ 1,640	▲ 1.0	156,020	153,300	94
広 島	同上（広島地方気象台 6月4日発表）	129,970	▲ 160	▲ 0.1	127,890	123,300	95
山 口	・九州北部地方（山口県含む）の6月6日～7月5日の1か月間の平均気温は高く、降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （福岡管区気象台 6月4日発表）	108,760	▲ 2,060	▲ 1.9	107,020	103,800	96
愛 媛	・四国地方の6月6日～7月5日の1か月間の平均気温は高く、降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （高松地方気象台 6月4日発表）	73,920	▲ 570	▲ 0.8	72,740	73,000	98
高 知	同上（高松地方気象台 6月4日発表）	50,070	20	0.0	49,270	55,600	95
福 岡	・九州北部地方（山口県含む）の6月6日～7月5日の1か月間の平均気温は高く、降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （福岡管区気象台 6月4日発表）	182,470	▲ 1,910	▲ 1.0	179,550	176,400	96
熊 本	同上（福岡管区気象台 6月4日発表）	189,310	▲ 610	▲ 0.3	186,290	180,500	97
宮 崎	・九州南部地方の6月6日～7月5日の1か月間の平均気温は高く、降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （鹿児島地方気象台 6月4日発表）	93,600	▲ 870	▲ 0.9	92,100	84,600	98
鹿 児 島	同上（鹿児島地方気象台 6月4日発表）	111,070	▲ 470	▲ 0.4	109,290	102,300	95

参考資料:

平成27年産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)

平成26年産水陸稲の収穫量(農林水産省)

農作物の生育状況 5月15日現在(北海道 5月20日)、農作物生育状況 5月15日現在(北海道空知総合振興局 5月20日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道石狩振興局 5月20日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道後志総合振興局 5月20日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道胆振総合振興局 5月20日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道日高振興局 5月20日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道渡島総合振興局 5月20日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道檜山振興局 5月20日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道上川総合振興局 5月20日)、農作物生育状況調査の概要 5月15日現在(北海道留萌振興局 5月20日)
農作物の生育と農作業の進捗状況 5月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 5月20日)、平成27年度定期作況報告(北海道道南農業試験場 5月20日)
病害虫発生予察情報第4号6月予報(北海道病害虫防除所 5月28日)、
平成27年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(青森県病害虫防除所 5月29日)、
作況調査報告(6月1日現在)(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月2日)、
農作物技術情報 第3号水稲(岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部 5月28日)、
平成27年度病害虫発生予察情報発生予報第3号(岩手県病害虫防除所 5月29日)、
平成27年産水稲の田植進捗状況について(5月25日現在)(宮城県農林水産部 5月27日)、平成27年産水稲の生育状況について(6月1日現在)(宮城県 6月2日)
平成27年産産稲作技術情報第3号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月1日)、平成27年産美里地区の稲作情報第2号(宮城県美里農業改良普及センター 6月2日)、
平成27年度発生予察情報発生予報第3号-水稲-(宮城県病害虫防除所 5月22日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」http://www.e-komachi.jp/ 6月5日)、
平成27年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第2号(6月予報 5月28日)、注意報第1号(5月21日)(秋田県病害虫防除所)、
米づくり技術情報NO.1(オールやまがた米づくり日本一運動本部 6月2日)、
稲作だより第5号本田初期水管理編(山形の米日本一推進運動最上総合支庁 5月28日)、つや姫だより第3号(庄内総合支庁 6月3日)
稲作だより第4号水管理編(村山総合支庁北村山農業技術普及課 6月4日)、酒田・鮎海日本一米づくり情報第4報(酒田農業技術普及課 6月2日)
おいしい米づくり情報第3号育苗後編(山形の米日本一推進運動村山地域本部・村山農業技術普及課 4月30日)、
おきたま米づくり情報No.3(置賜総合支庁農業技術普及課西置賜農業技術普及課 5月11日)、
平成27年度農作物有害動植物発生予察情報発生予報第3号(6月)(山形県病害虫防除所 5月27日)、
主要な農作物の生育情報平成27年度第3号(福島県農林水産部 6月3日)、稲作情報平成27年度第3号(福島県喜多方農業普及所ほか、6月5日)
平成26年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(5月)(福島県病害虫防除所 5月29日)、
農研速報(水稲の生育状況)(6月1日現在、水戸市)(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月3日)、
農研速報(水稲の生育状況)(5月28日現在、龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月1日)、
病害虫発生予報6月号(茨城県病害虫防除所 6月1日)、
下都賀管内水稲技術資料No.3(下都賀農業振興事務所 6月4日)、平成27年度病害虫発生予察注意報第1号(栃木県農業環境指導センター 6月3日)、
平成27年度スポット情報(埼玉県ホームページ 4月27日)、平成27年度病害虫発生予報第2号(6月予報)(埼玉県病害虫防除所 5月28日)、
水稲の生育状況と当面の対策第1報(千葉県農林水産部 6月3日)、平成27年度病害虫発生予報第2号(千葉県病害虫防除所 5月14日)、
5月の技術対策(新潟県農林水産部 4月28日)、水稲の生育状況と今後の管理対策第1号(新潟県農林水産部 5月29日)、
岩船米生育速報(5月28日現在)(村上農業普及指導センター)、平成27年度糸魚川売れる米づくり水稲生育情報No.1(糸魚川農業普及指導センター 5月29日)
稲作技術情報No.3(水稲生育速報No.1)(新津農業普及指導センター 5月29日)、水稲生育速報(巻農業普及指導センター 5月28日)
2015「越のかがやき米」技術対策資料No.3(越のかがやき米改良協会 5月28日)、
新発田地域水稲育成速報No.1(新発田農業普及指導センター 5月28日)、新潟稲作速報No.1(新潟農業普及指導センター 5月28日)、
水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 5月28日)、FAX稲作速報(三条農業普及指導センター 5月28日)
稲作管理情報1(柏崎農業普及指導センター 5月30日)、水稲生育速報(5月28日)(上越農業普及指導センター、上越東農林事務所)、
平成27年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第3号(6月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 5月29日)、
TACS情報第2号(富山県農業技術課広域普及指導センター 6月2日)、直播情報第1号(富山県農業技術課広域普及指導センター 5月27日)、
病害虫発生予報第3号(富山県農林水産総合技術センター 6月1日)、
平成27年産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-2号)(石川県農林総合研究センター 5月28日)、
病害虫発生予報第2号(石川県農林総合研究センター 5月28日)、
稲作情報No.5(福井県水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月5日)、平成27年農作物病害虫発生予察予報第4号(福井県農業試験場 5月28日)、
平成27年度作物技術普及情報第7号(長野県松本農業改良普及センター)、病害虫発生予報第2号(長野県病害虫防除所 5月16日)
平成27年度水稲生育診断情報No.1(滋賀県農業技術振興センター 6月5日)、平成27年病害虫発生予報第3号(滋賀県病害虫防除所 5月20日)、
平成27年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農政環境部 5月28日)、
平成27年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 6月2日)、
稲作ワンポイントアドバイス(No.1)(I.A長門大津・長門農林事務所 6月1日)、農作物病害虫発生予報6月(山口県病害虫防除所 6月2日)、
気象情報に基づく技術対策・作物(愛媛県農林水産研究所 6月3日)、病害虫発生予報(6月)(愛媛県病害虫防除所 5月28日)、
平成27年度水稲の生育状況(幡多農業振興センター 5月28日)、
平成27年度病害虫発生予察予報第2号(5月)・平成27年度病害虫発生予察予報第3号(6月)・(高知県病害虫防除所)、
福岡県の主な農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 5月15日)、平成27年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(熊本県病害虫防除所 6月1日)、
平成27年産宮崎県早期米産地情報(平成27年4月20日現在)・平成27年産早期米生育状況(宮崎経済連ホームページhttp://www.miyazaki-cha.jp/kome/index.html 5月12日)
平成27年度病害虫発生予報第1号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 4月28日)、平成27年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 6月3日)、
平成27年度病害虫発生予報3号(鹿児島県病害虫防除所 5月27日)

北海道地方こう1か月の天候の見通し(札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(広島地方气象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(福岡管区气象台)、九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方气象台)